



楽しみながら健康増進 宇都宮北西部の魅力

ÖYA × TAGE × KOGASHI

歴史と文化と自然 大谷・多気・古賀志エリア

魅力探しに楽しく歩いて、リフレッシュ！

宇都宮市北西部の大谷・多気・古賀志エリアは、自然や施設など魅力ある観光スポットが多く、中心市街地とはまた違う宇都宮を味わうことができます。今回はぶらぶら歩きからハイキングまで「身体を動かして健康づくり」という角度から紹介します。

四季おりおりで 多彩な表情が



宇都宮市北西部の、大谷・多気・古賀志エリアについて、まず最初に皆さんが思い浮かべるのは、平和観音や大谷寺（大谷観音）、採掘場跡を活用した大谷資料館などではないでしょうか。

また、多気山にある多気不動尊は古くから多くの人の信仰をあつめていいます。古賀志山は、近年のハイキングブームの中、宇都宮市近郊の手頃なコースとして、平日でもハイカーの姿が数多く見られます。

ダーや乗馬、ロッククライミング、ゴルフ場など、本格的なスポーツを楽しむことのできる場所もあります。

この大谷・多気・古賀志エリアの魅力について、宇都宮観光コンベンション協会の石川和明事務局長は、

「歴史があり、自然が豊かで、何より四季おりおりで多彩な表情を見せてくれることですね」と言います。

「春の桜、秋の紅葉はもちろん、冬はさまざまな奇岩がはつきりと見える楽しさが味わえます。年間を通して、訪れた方々を楽しませることができるのは、このエリアの大きな特徴ではないでしょうか」

玄な雰囲気の中でコンサートを行っており好評です」

昨年から実証実験を行っていた、大谷地区の地下探検観光（カヤック等での地下クルージング）も、今年は正式にスタートし、新たな魅力になると期待されています。

そして古賀志山は、『日本百低山』（小林泰彦著）でも紹介された、初心者から中級者、上級者まで幅広い層に人気の山です。古賀志山だけでなく、周辺の山とあわせて縦走することで、本格的な山歩きも満喫できます。

「比較的狭い地域の中に、これだけさまざまな魅力が詰まっているのは、すばらしいことだと思います。私も観光コンベンション協会でも、より一層の魅力発信に努めていきます」

観光を楽しみながら健康増進にもつながる、自然豊かな大谷・多気・古賀志エリアの魅力、いかがでしょうか。これからのいよいよ新緑の季節、ぜひ足を伸ばしてみてください。

観光イベントも 広く周知



大谷地域は、一時期観光客が減少しましたが、地元商工業者などの努力により、再び脚光を浴びつつあります。

「大谷景観公園では、毎年『フェスタ in 大谷』が開催されています。昨年9月には14回目を迎えました。また平和観音のある大谷公園では、8月に『大谷石夢あかり』というイベントを行っています。公園内にろうそくを灯し、幽

この季節は
手作りお弁当で
ハイキングもおすすめ



宇都宮観光
コンベンション協会
事務局長
石川 和明氏



写真1 / 有名な「孝子桜」も、このエリアにあります

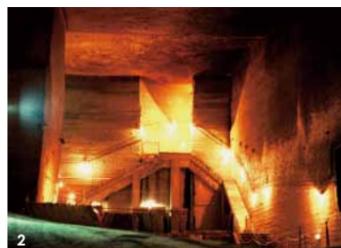


写真2 / 大谷石の採掘の歴史がわかる大谷資料館の様子



写真3 / 世界中からアスリートが集まる「ジャパンカップサイクリロードレース」



写真4 / すっかり人気イベントとなった「フェスタ in 大谷」(写真は昨年開催の様子)



写真5 / 普段は立入禁止の大谷探石跡跡を、カヤック等で地下クルージング





本尊の不动明王坐像は、平安後期製作と伝えられています

多気山について

宇都宮市の北西郊外にある標高は376.9mの低山。山腹に多気不動尊が鎮座し、山城全体に山城「多気城」の遺構が残っています。山頂にかけて全体的に平坦な林の中を行く細い登山道があり、小さな子供連れでも登山できるハイキングコースとなっています。登山道の入口は、山腹の茶屋から多気不動尊境内からも分岐しており、途中で合流します。茶屋から山頂までの所要時間は上りが30分程度、下りは15～20分程度。

※宇都宮市観光マップ「大谷・多気・古賀志」(宇都宮市経済部観光交流課)より引用

御殿平は当所女性部も協力し公園整備されており、東屋で休憩できます。ここからの眺望は見事で、男体山や古賀志山が望めるほか、天気によれば筑波山まで眺めることもできます。



平安初期の開基とされる多気不動尊(持宝院不動寺)

大谷街道から少し西に向くと、国道293号に出ます。そこにあるのが多気山と多気不動尊です。大谷から足を伸ばして多気不動尊に参詣してもよし、多気山ハイキングに訪れて、帰りに不動尊参詣してもよし。思い思いの楽しみ方ができます。293号から鳥居をくぐり、市営多気山駐車場に車を停めて、いざ出発です。山門の前には土産物店、だんご屋などが並

び、門前のにぎわいを楽しむ事ができます。山門をくぐって長い石段を登ると、そこが多気不動尊。正式には「持宝院不動寺」で、勝道上人門弟の開山と伝えられています。本尊の不动明王坐像は平安時代後期の作で、火除け・商売繁盛のご利益があるそうです。山の緑に包まれた多気不動尊を後にし、いよいよ多気山ハイキングに出発です。境内を進むと鐘楼堂の先に「多気山頂御殿平、徒歩30分」の道標があります。ここから御殿平まで、階段状に整備された道が続いています。ただし、勾配は急になら

たり緩くなったりと地形に合わせて変化しますから、足元に注意してください。



長い石段は、日頃の体力づくりが試されます



AREA 02

TAGE

多気不動尊と多気城跡をめぐるハイキングコース

多気エリアの魅力

ここから多気山山頂まで行ってもいいのですが、初心者向けとはいえず急下降もあり、今回は、御殿平で眺望と自然を満喫した後、来た道に戻って山門へ戻ることになります。

山門の外でお土産品を買ったり、おだんごを味わったりした後は、裏参道を通り歩き歩くのもいいでしょう。自然を満喫したら、駐車場へ戻りましょう。あちこちに標識がありますから、迷うことはほほありません。裏参道から293号に出て、そこからぐるりと回って駐車場に戻れば、田園風景も楽しめます。多気山には、戦国時代末期に「多気城」がありましたが、御殿平は実はこの城の本丸跡なのです。宇都宮氏が小田原の北条氏の進出に備えるために本拠地にしたと伝えられています。



広い公園は子供とのんびりお散歩にも最適です(大谷景観公園)

「石の里」大谷を楽しむには、大谷街道に沿って散策するのがお勧めです。市営大谷駐車場の向かい側にあるのは、大谷公園。全長約27メートル、絵手彫りで6年余りの歳月をかけて造られた「平和観音」があることで有名です。他にも、大谷石のお土産品の元となった「親子がえる」の石などがあります。自然の景観と、大谷石採石場跡がみごとに溶け合った公園です。大谷公園の少し先、大谷街道から右に折れると、弘法大師開基と伝えられる「大谷寺(坂東19番札所、国特別史跡、国重要文化財)」があります。このお寺のご本尊は、岩壁に彫られた大谷観音(千手観音菩薩)です。お寺の本堂自体が岩壁に組み込まれたような姿で、これだけでも圧倒される風景でしょう。大谷寺には歴史的に貴重な遺物も多く収蔵されており、一度は訪れてみたい場所です。ちなみに大谷公園の平和観音は、大谷寺の御前立として世界平和を祈って造られました。大谷街道に戻り、さらに北上しましょう。3分ほど歩くと、大谷景観公園がありま



奇岩群は大谷エリアの大きな魅力



奇岩群

大谷エリアの奇岩は、古代から長い年月をかけて自然が創り出したものや、大谷石を採掘した跡に残された岩が周囲の自然と相まって奇岩と称せられるようになったものがあります。平成18年7月に、その奇岩群の中から「御止山」と「越路岩」の2カ所が、国の名勝に指定されました。

※宇都宮市観光マップ「大谷・多気・古賀志」(宇都宮市経済部観光交流課)より引用

す。毎年秋にはイベント「フェスタ in 大谷」でにぎわいます。公園を際立たせているのは、大谷石の岩壁がそそり立つ御止山(名勝)の奇観でしょう。公園を東に入ると、大谷資料館があります。東日本大震災の後にはしばらく閉館していましたが、平成25年にリニューアルオープンしました。大谷石の採掘場跡をそのまま保存した地下空間は、息を呑むほど幻想的です。映画の撮影などにもよく使われます。大谷街道に戻り、さらにしばらく北上して行くと、街道の両側に大小さまざまな奇岩を楽しむことができます。豊かな自然の中にそそりたつ岸壁や奇岩は、まさに景

勝という言葉がふさわしいでしょう。実際、平成18年には、御止山と越路岩の2カ所が、国の名勝に指定されています。奇岩ばかりに触れています。春の桜、秋の紅葉はもちろん、初夏から初秋にかけての鮮やかな緑も一見の価値があります。また、大谷近辺には旧大谷公会堂(登録有形文化財)など大谷石の建築物が数多く残されており、それらを訪ね歩くのも楽しいひとときを提供してくれるでしょう。ほとんどは個人所有のため、中に入ることはできませんが、外からその様式や意匠を眺めるだけでも、大谷石の持つ魅力が感じられるのではないでしょうか？



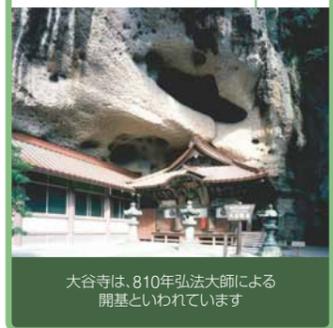
大谷寺のご本尊 大谷観音

AREA 01

ŌYA

奇岩と2つの観音(大谷観音・平和観音) 自然と歴史を訪ね歩く楽しみ

大谷エリアの魅力



大谷寺は、810年弘法大師による開基といわれています

大谷・多気・古賀志エリア散策マップ

大谷・多気・古賀志エリアの魅力の一端をご紹介します。いかがでしょう？
休日に、気の合う友人や家族と訪れてみてください。最後に、エリアの地図を掲載しますので、ご参考にしてください。

歴史と文化に
ふれながら、
自然を感じて
お散歩リフレッシュ
しましょう！



文化に
ふれながら
散歩

歴史を
学びながら
散歩



多気エリア

多気山は、中腹にある「多気不動尊」への参拝や、山頂までのハイキングコースも四季を通じて親しまれています。また、戦国時代の大規模な山城「多気城」があったことも知られています。大谷から多気山まで四季折々の風景を楽しみながら、のんびり歩くのもおすすめです。

◎おすすめ散歩コース

- 市営多気山駐車場
- 山門
- 多気不動尊
- 多気山ハイキング(御殿平)
- 山門
- 裏参道

大谷エリア

大谷の歴史や大谷石を知るなら、石の里「大谷」。むきだしの岩肌などその独特な景観は、見る人を圧倒させます。間近に迫る岩壁や巨大な地下大谷採石場跡、大谷石造りの観音像などの見どころ満載。時間をかけてのんびり散策したくなる歴史ただよりの町です。



◎おすすめ散歩コース

- 市営大谷駐車場
- 大谷公園(平和観音)
- 大谷寺(大谷観音)
- 大谷景観公園
- 大谷資料館
- 遊歩道
- 越路岩



ÖYA x TAGE x KOGASHI AREA MAP

自然を
感じながら
散歩



古賀志エリア

数多くの樹木、野鳥が生息するこのエリアは、自然とのふれあいが満喫できる自然の宝庫です。宇都宮市森林公園は赤川ダムを中心にバーベキュー場やキャンプ場などの施設が充実。また、古賀志山頂へと続くハイキングコースは四季を通じて楽しめる人気のスポットです。

◎おすすめ散歩コース

- | | |
|-------------|---------------|
| 森林公園駐車場 | 管理センター or 展望台 |
| 林道分岐点 | 林道・赤川ダム分岐点 |
| 北コース登山口 | 林道分岐点 |
| 水場 | 富士見峠 |
| 東陵見晴し台(展望岩) | 山頂 |
| | 御岳 |
| | 山頂 |

※参考 宇都宮ハイキングクラブ編「栃木の山150」(随想舎)・境野つづみ「つづみと歴史探訪」(随想舎)・宇都宮市経済部観光交流課「宇都宮市観光マップ 大谷・多気・古賀志」(宇都宮市)



古賀志エリア
はパラグライダーのメッカ
でもあります



低山ながらさまざまな
ハイキングコースが充実した
古賀志山



AREA 03

KOGASHI

古賀志エリアの魅力

初心者から上級者まで 楽しめる「山の魅力」

古賀志エリアは、何といってもハイキングコースとして名高い「古賀志山」が有名です。

古賀志山は582.8メートル、決して高い山ではありませんが、それだけに初心者から中級者、さらには上級者にとっても楽しめる、魅力多い山となっています。登山コースもいくつかありますが、北登山コースと南登山コースの2コースが初心者向けに整備されていて、お勧めです。いずれも宇都宮市森林公園から登ることができ、上りは北、下りは南コースをとっても、楽しそうです。

ただ、初心者向けとは言っても山道であることには変わりありませんので、準備や身仕度はしっかりお願いします。年配の方は、ステッキも必須です。

ちなみに古賀志山周辺には御岳(546メートル)、赤岩岳(535メートル)があり、これ

ら三山からなる連山を総称して、古賀志山と呼んでいます。

ジャパンカップサイクルロードレースの舞台としても有名になった、宇都宮市森林公園は、宇都宮市北西部の自然を護る自然公園です。特に赤川ダム周辺にバーベキュー場やキャンプ場、少年自然の家、アスレチックのトリムコース、サイクリングターミナルなどが設けられ、市民が自然を満喫できる環境が整っています。「登山、本格的なハイキングなどは、ちょっと」と尻込みする人は、まず森林公園で楽しんでみてはいかがでしょうか？ 宿泊施設もありますので、企業研修や合宿にも適しています。

森林公園では、四季おりの自然を満喫



宇都宮市森林公園

アウトドアを楽しむならここ宇都宮市森林公園。古賀志山を背景に赤川ダムを囲うように作られ、春にはツツジや桜が咲き誇り、秋の紅葉も素晴らしい。休憩所や食堂・キャンプ場・バーベキュー・釣り場・サイクリングコース・トリムコースなど、自然と遊ぶための様々な設備も充実しています。豊かな自然の中で新鮮な空気を胸いっぱい吸い込み、心も身体もリフレッシュできる公園です。

※宇都宮市観光マップ「大谷・多気・古賀志」(宇都宮市経済部観光交流課)より引用

また、古賀志山の城山西小学校側から登るコースの途中には、ロッククライミングができる岩場があり、愛好家が集まっています。古賀志山麓は、パラグライダーのスポットとしても有名です。山中にはテイクオフ台もあります。休日には多くの愛好家が、気持ち良さそうに空を散歩する姿を見ることができます。

ハイキングの中級、上級者向けには、中尾根・東尾根を辿るコースや、靴掛山から古賀志山へのコースなどがあります。難易度が高いコースですから、いきなり自力で挑戦するのではなく、慣れた先輩と歩くところから始めましょう。



世界のアスリートが集まる「ジャパンカップサイクルロードレース」